

第1回上海国際高齢産業交流会
出展企業と主な事業内容

日本	<アイホン> インターホンなどの情報通信機器
	<アベストコーポレーション> 高齢者関連事業、ホテル事業、不動産事業
	<医療法人社団アルペン会> クリニック、リハビリステーション、介護事業
	<ゲストハウス> 老人ホームの運営・企画
	<寿寿> 訪問介護、訪問入浴、デイサービス
	<多田ケアプロジェクト> 介護事業、介護人材育成研修
	<テクノス> 介護関連システムなどの情報サービス
	<ニューロンネットワーク> 調剤薬局、医療コンサル
	<湯川建築研究所> 老人ホームの設計・管理
	<思塔夫无障碍卫浴施設> 浴槽など高齢者関連施設
中国	<姜迪医病網> 医療系サイト、医療洋品の販売
	<健康財富> 医療系雑誌
	<安究医病設備貿易有限公司> 浴槽、電動ベッドなどの製造販売

リハビリ病院と
老人ホーム見学

イベントの翌日は、ブリス
出展した日本法人を中心とし
たメンバーによる中国の介護
・医療事情視察ツアーが行わ
れた。

まず、一行が向かったのが
上海金恵リハビリテーション
病院。1999年に開設した
702床の国有病院だ。現在、
高齢者向けのリハビリテーシ
ョンの他、通院で脳性まひの
子どもに対する機能訓練を行
っている。上海ではリハビリ
に特化した医療機関は106
カ所あるが、病床が無いもの



▲上海金恵リハビリテーション病院の外観



も多く、全体的に不足気味だ
という。総スタッフ数は医師
・看護師、鍼灸師、PTなど
合計で200人以上。
張建國院長によると「西洋

医学と、針・灸、漢方などの
東洋医学を複合させたリハビ
リが特色」とのこと。高齢者
では東洋医学に対する信仰が
強い上に、針治療に保険が適
用されることもありニーズが
多いという。

現在の入院患者数は630
人。症状にもよるが、入院期
間は約1ヵ月。老人ホームな
ど退所後の受け入れ先が絶対
的に不足していることもあり、
退院後は大部分が自宅に
帰るといふ。

また、入院患者のうち11
9人が認知症を患っており、
認知症患者については専用フ
ロアを設けて対応している。
リハビリテーション病院入院
患者という特殊な条件から
か、原因疾患は脳血管性が65
・5%と高くなっているのが
特徴だ。

市出資ホーム、月3万円強で入居可



▲上海市第三社会福利院外観(左)・階部分のロビー

リハビリに東洋医学を積極活用

1つのホームに
待機者およそ200人

いても20000円の料金内で
が実施するADL審査を受け
対応する。
なくてはならない。

人員配置は、寝たきり及び
設備面では、離床センサー
次の訪問先は上海市第三社
会福利院。上海市が出資した
で、これは国が定めた基準と
を常に遠隔で把握出来るのが
800床の大型老人ホーム
なっている。同様のスペック
特徴。見学者からは「日本
の民間老人ホームでは月額
料金は部屋の種類や身体状
用はこの5〜6倍もするた
入居金1000万円〜200
万円に達する。非常に人気
がある。非常に人気のあり、
現在0万円程度の感覚。人
件費の違いや、市の出資も
ある」といふ。日本とは格
格水準が違いうる」と驚
きの声がかき聞かれた。

料金は部屋の種類や身体状
用はこの5〜6倍もするた
入居金1000万円〜200
万円に達する。非常に人気
がある。非常に人気のあり、
現在0万円程度の感覚。人
件費の違いや、市の出資も
ある」といふ。日本とは格
格水準が違いうる」と驚
きの声がかき聞かれた。

「14面からつづく」
の確保」。「老有所学
て①社会養老保障制度の
利院(左田み記事参照)
介護・認知症など日本と
同様の問題が深刻化して
いくことは間違いないと
思われる。
こうした中で上海では
「老有所養(高齢者をケ
6つを目標に掲げ、高齢
・認知症予防など)の確
保」。「老有所楽(高齢
者の楽しみ確保)」「の
健康支援体制(予防医療
流れの中で、介護をはじ
めとする高齢者向けビ
ジネスで一日の長のある日
立、などを掲げていると
いう。
「老有所医(高齢者医療
の確保)」「老有所
さらに、中国政府も2
また、上海市の老人ホ
ーム、上海市第三社会福
いえるだろう。

潤いのある食生活を

福祉施設への給食・事業所・病院・学校など集団給食なら

ジャパン コントラクト フード

「すべては、お客様の健康で
楽しい豊かな食生活のために」

わたしたちジャパンコントラクトフードは
施設内食堂・売店の経営、福祉施設・病院等の
給食・レストラン・寮・管理等の運営や、
介護施設の皆さまへのお料理の提供などを通じ、
おいしいお食事と
心のこもったサービスで
やすらぎのひとときを
ご提供いたします。

福祉施設
高齢者様にも
食べる喜びを。

施設内食堂
働き盛りの皆様にも、
明日への活力を
ご提供。

学校給食
「食育」を通して子どもの
健全な教育に貢献。

レストラン・寮・管理
首都圏にてレストランを
展開しております。

ジャパン コントラクト フード 株式会社

お問合せ ☎ **03-3832-8324**

ジャパンコントラクトフード

<http://www.japancf.com/>

〒110-0015 東京都台東区東上野1-8-2 オーイズミビル西館8階